

報 告 書

	理事長	部門長	代表	代表	報告者
確認日	2025/10/07	2025/10/6	2025/10/6	2025/10/6	2025/10/6
氏 名	矢嶋	佐藤	藤田	及川	及川

実施日	2025 年 9 月 22 日 (月)	提出日	2025 年 10 月 6 日
-----	---------------------	-----	-----------------

件 名	ホームすずらん 地域連携推進会議について下記のとおり報告いたします。
-----	------------------------------------

- ・開催日時：2025 年 9 月 22 日 (月) 10：00～11：45
- ・開催場所：リリーハイム
- ・参加者：A 様 (地域関係者) Y 様 (福祉に知見のある方)、
S 様 (利用者保護者代表者)、O 様 (利用者代表)、
池田 (法人理事)、佐藤 (法人理事)、
藤田 (ホームすずらん代表)、及川 (ホームすずらんあさみぞ代表)

① 出席者紹介：

- ・上記参加者の紹介と挨拶

② 会議の目的、役割の説明

- ・パワーポイントを使用しての会議の趣旨、目的等の説明

③ グループホームに関しての説明

- ・利用者に関して
- ・ホームでの生活に関して
- ・防災に関して

④ グループホーム見学

- ・グループホームマリージュの見学

⑤ 意見交換

【会議内、意見交換での質問事項】

Q：グループホームマリージュの地域での評判はどうでしょうか。

A：コンビニの利用について複数回ご意見を頂いたことがあった。以前は、福祉施設となると山間部に作られることが多かったが、最近では住宅街に作られることが多くなった。その方が地域で生活が行えるようにコンビニで頂いたご意見を地域の方から理解を得ながら一緒になって改善をしていきたいです。コンビニの利用について以外のご意見はございません。

Q：グリーンハウス開所時、当時は反対の意見もあったが、現在はどうか。

A：現在は、反対の意見も少なくなった。当時の自治会長が福祉に理解があり、自治会長より会員に話をしてもらった。

Q：グループホームでは、どのようなことを大事にして支援をおこなっていますか。

A:利用者の皆さんの意思決定と得意なことを伸ばす支援を大事にしています。

例えば、毎日のお天気を欠かさずに職員に教えて下さる利用者さんに、ホワイトボードにその日の天気を表示して頂き、ホームの皆さんにお天気ニュースを発信してもらうようお願いをしました。毎日、ホームの皆さんより感謝され、日々の生活のやりがいに繋がることができました。

【感想】

・地域の中には生活環境により色々意見を言う人もいます。個別対応をしたことで仲良くなった。困ったときは遠くの親戚より、近くの他人のように人間関係を構築することが大事。一度話を受け止めて、直ぐに返事をせず、人間関係を構築することが大事。地域のお祭りなど参加してお互いを知ることにより仲良くなれる。

・地域清掃、地域のお祭り等に参加してどのようなことを支援しているか、地域の方に知ってもらうことが大事。今回の地域連携推進会議はとても良かったと思う。

・利用者支援で困ったことはないか、どのような生活をする上での支援を行っているのか、利用者間のトラブルがあったときに、どのようにして解決を行っているかなど、地域連携推進会議を通じて福祉施設同士が連携を取れると良いと思います。

【添付として、当日使用の資料添付】

グループホーム

ホームすずらん
ホームすずらんあさみぞ

地域連携推進会議



社会福祉法人すずらの会

本日の議題

- ①出席者紹介
- ②会議の目的・役割
- ③グループホームに関して
 - ・利用者さんに関して
 - ・ホームでの生活に関して
 - ・防災に関して
- ④グループホーム見学
- ⑤意見交換

①：出席者紹介

②：会議の目的・役割

★地域連携推進会議とは

・サービスの質の確保や利用者が安心して暮らす事が出来るように施設と地域が連携を推進し、事業運営に活かす為の会議。

★地域連携推進会議とは

会議の開催
＋
地域連携推進員による
訪問

★会議の目的・役割

- ①：利用者と地域との関係づくり
- ②：地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ③：施設等やサービスの透明性、質の確保
- ④：利用者の権利擁護

★会議の構成員

- ・利用者
- ・利用者家族
- ・地域の関係者
- ・福祉に知見のある人
- ・経営に知見のある人
- ・施設等所在地の市町村担当者等

③：グループホームに関して (利用者さんに関して)

★グループホームとは・・・

知的障がいのある方が地域の中で自立した生活をおくるために、ご家族から離れて世話人と呼ばれる職員の支援を受けながらともに日々を過ごします。様々な経験を重ねて、自分らしい生活ができるよう相談や生活に関わる支援を行います。利用される方々の約70%がグループホームに住居票を移し、ご家族と世帯を分けた生活をおくられています。入居されている方々の約40%が企業に就職されており、また、約50%の方が法人内の日中事業所等へ通所しています。ホームすずらんでは、年5回の防災訓練の実施や、IHクッキングヒーターを設置するなどの防災対策に特に力を入れています。

ホームすずらんHPより

★グループホームとは・・・

知的障害を持った利用者が、
親元から離れ、自立した生活を送る場所。

ホームすずらん/ホームすずらんあさみそでは利用者一人一人に個室があり、各ホーム6～7名の定員。

ここでクイズです。

Q：現在ホーム利用者の最年少と最高齢は何歳でしょう？

A：最年少20歳、最年長76歳

○利用者さんに関して

- 年齢：20～76歳(全62名) 2024.10現在
- 平均年齢：45.9歳(男性：43.4歳、女性：49.6歳)
- 平均区分：4.7
- 日中活動先：

一般就労	：22名(36%)
法人内事業所	：35名(57%)
法人外事業所	：4名(7%)

(2024.10月末現在)

③：グループホームに関して (ホームでの生活に関して)

利用者の一日

6：00～7：00 起床
7：30～8：30 仕事/事業所へ出発

17：00～20：00 ホーム帰着
夕食、入浴、洗濯
21：00～23：00 就寝

支援・支援者に関して

- 支援員（世話人）は朝の送出し、夕方の迎え入れの時間帯を主に勤務。
- 夜間20：30～翌7：00までは職員不在（一部夜勤、宿直者あり。）
- 日曜日は職員不在。
- 食事提供は土曜日の夕食までで、日曜日の食事提供は無い。

防災に関して

防災に関して

- ・年5回、各ホームにて防災訓練の実施。（地震、火災）
- ・年一回法人委員会立合いの元、夜間及び職員不在時を想定した訓練の実施。

防災訓練の様子

[illegible]

地域との関わり

- ・サロンコンサートの実施
→参加無料のコンサート健文センターにて
- ・クリーンウォーク
→事業所近隣のゴミ拾い
- ・フェスタすずらんの実施
→法人イベント（以前は近隣の方も参加されていたが
コロナ禍以降縮小開催）

グループホームの紹介

- ホームすずらん 5ホーム
(麻溝台、双葉、南台、豊町)
- ホームすずらんあさみぞ 5ホーム
(下溝、当麻)

10ヶ所のホーム

- ・ワイビレッジ（男性7名）
最寄駅■小田急線 相模大野駅または
小田急相模原駅
コンビニまで徒歩30秒です。
相模大野駅までのバスの便も多く便利。
- ・まーぶる（女性6名）
最寄駅■小田急線 相模大野駅または
小田急相模原駅
カナダ産の木材を多く使用したログハウ
ス風な建屋。

10ヶ所のホーム



・パークハウス（6名）
 最寄駅■小田急線 相模大野駅または
 小田急相模原駅

ワンルーム型で各部屋にバス・トイレが付いているタイプです。1階部分をお借りしています。



・マリーージュ（男性3名・女性3名）
 最寄駅■小田急線 相模大野駅または
 小田急相模原駅

マンション内の2部屋をお借りしています。水道路に面した、静かな環境です。

10ヶ所のホーム



・みらい (男性3名・女性3名)
最寄駅 ■小田急線 相模大野駅または
小田急相模原駅

平成27年4月開設。

多くの支援が必要な人や高齢の人でも生活しやすいように、バリアフリー設計になっています。
夜間は宿直職員が常駐しています。
広いリビングやベランダも使いやすくと評判です。

10ヶ所のホーム



・ワイビレッジ2(男性3名・女性3名)
最寄駅 ■JR相模線 原当麻駅

近辺にはスーパーマーケットやドラッグストア、100円ショップ、カラオケボックス、コンビニ等あり、充実した買い物を楽しんでいます。

・リリーハイム (男性3名・女性3名)
最寄駅 ■JR相模線 原当麻駅

平成4年、法人で一番初めに開設したホームです。「ワイビレッジ2」とは50mしか離れていない為、とても連携が取りやすいです。

10ヶ所のホーム



・ローズハイム (7名)
最寄駅 ■JR相模線 原当麻駅

各部屋バス・トイレ付きのワンルーム型。
ホーム用に設計された為、共有スペースがとても広く、災害時を想定してベランダ側にも非常階段を設置しています。

10ヶ所のホーム

・ひだまり (女性6名)
最寄駅 ■JR相模線 原当麻駅



④：グループホーム 見学

⑤：意見交換